

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成20年10月23日 (2008.10.23)

【公表番号】特表2005-519431(P2005-519431A)  
 【公表日】平成17年6月30日 (2005.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-025  
 【出願番号】特願2003-573457(P2003-573457)  
 【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 C

G 0 2 B 6/00 3 3 1

F 2 1 Y 101:02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年9月2日 (2008.9.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

透明材料から形成され少なくとも一つの平坦な又は僅かに湾曲した中実の光ガイドを備える照明装置であって、この少なくとも一つの光ガイドは光源からの光を受光するようになり、この少なくとも一つの光ガイドには、この光ガイドから光を取出すための手段が設けられ、この手段が反射面を有し、これら反射面の傾斜は、光束を所望の読書面の位置に指向するように、前記光ガイドにおける前記取出手段の位置及び読書面の位置に応じて変えられている照明装置であって、

前記光を取出すための取出手段の反射面は、予め決定された分布光を前記読書面に作り出すように丸みを帯びている、

ことを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

光束を所望の読書面の位置に指向するように、光ガイドの取出手段の位置、及び読書面の位置に応じて変えられている反射面の傾斜を備える前記中実の光ガイドと、

背景照明を拡散するための少なくとも一つの中実の光ガイドと、の組み合わせを備え、

前記読書面は、背景照明に対する少なくとも一つの限定された領域である、

請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 3】

前記光ガイドから読書場に光を取出す手段は、少なくとも一つの中実の光ガイドに設けられた V 形の溝を備え、この溝の反射面の傾斜は、所望の読書場位置に光束を指向するように、取出手段の位置、及び所望の読書場の位置に応じて変えられている、

請求項 1 又は請求項 2 に記載の照明装置。

【請求項 4】

前記光ガイドから読書場に光を取出す手段は、少なくとも一つの中実の光ガイドにレーザー切込みを備え、このレーザー切込みの反射面の傾斜は、所望の読書場位置に光束を指向するように、取出手段の位置、及び所望の読書場の位置に応じて変えられている、

請求項 1 乃至請求項 3 何れか 1 項に記載の照明装置。

【請求項 5】

光を拡散するためにライトガイドの主表面には、塗料のドットパターン又はつや消しされたドットパターンが設けられており、

これらパターンは、規則的に間隔をおいたアレイで構成されているのが好ましい、

請求項 2 乃至請求項 4 の何れか 1 項に記載の照明装置。

【請求項 6】

光ガイド層の積層構造を有し、

この層は、照明の均一拡散用の光ガイド層と、読書面のスポット照明の少なくとも一つの光ガイド層とによって形成されている、

請求項 1 乃至請求項 5 の何れか 1 項に記載の照明装置。

【請求項 7】

上側光ガイドの上側主表面にはミラーのような被膜が設けられている、

請求項 1 乃至請求項 6 の何れかの項に記載の照明装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 1】

本発明を、添付の図面を参照して以下に説明する。

図 1 及び 2 は、例えば、車のルーフ（天井）に取り付ける自動車用途に利用することのできる光ガイド（導波路）1 を示す。この光ガイドは平面とすることもできるし、僅かに湾曲させることもできる。光ガイドは、一般には、ガラスや、ポリカーボネートや、アクリル等の透明材料から形成される。光は、例えば前面で光ガイドに結合され、全反射により光ガイド内に保持される。小型で高性能な白熱ランプ及び光ファイバ（これらを線図的に参照符号 2 で示す）により、光を光ガイドに結合するのが好ましい。このことにより、自動車の場合に、光源のためにわずかな空間しか必要としないという利点を得られる。光ガイドには、例えば、光ガイドの全表面に亘って規則的に分離させるのが好ましい塗料 3 のドットを設けることができる。このようにして、例えば自動車のルーフの大部分に亘って均質な拡散光を得ることができ、これにより運転手や同乗者に心地よい感覚を与えることができる。塗料のスポットの代わりに、ドットをつや消しとしてもよい。光ガイドの厚さは薄肉に、例えば 3 mm とすることができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 2】

図 3 は、指向性スポット照明のための光ガイド 4 を示す。この光ガイド 4 には、複数の V 字状の凹所 5 が設けられている。図 4 は、V 字状の条溝 6 を具える指向性照明用の光パイプ 4 を示す。これら条溝 6 は直線的なものとして示されているが、多少丸みを帯びさせることもできる。凹所又は条溝は、所望の位置、一般的には車内の読書面の位置に光を指向させるための光の取出手段として作用する。図 3 及び 4 から分かるように、凹所又は条溝は反射面 7, 8, 9, 10 を有しており、これら反射面の傾きは光ガイド 4 における凹所又は条溝の位置の関数として変えられている。このように、反射面の傾斜を光ガイドにおける凹所又は条溝の位置の関数として変えることにより、車内の同乗者用の任意の所望寸法、例えば A 4 寸法の読書面に明るい照明を与えることができる。